

# 1。 ピンス バレル で 嘔吐

ユウキHB  
...YUUKI HB...

1

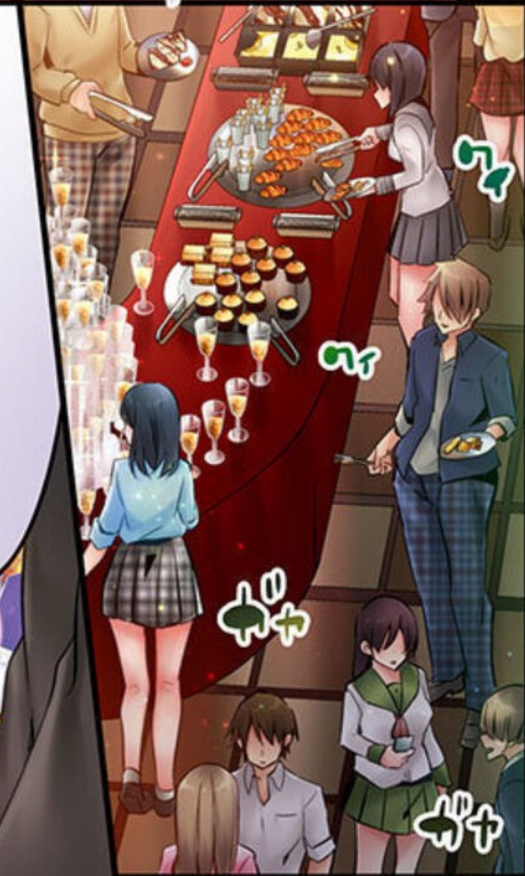
自称ビッチは  
ウグググ  
濡れる

1ピストンでバレる嘘  
～自称ビッチは  
ウブに濡れる～

第 1 話



モデルの『LUNA』じゃない!?



ん!?  
ちよつと  
あそこにいるの…



失せる  
カマ野郎



俺東第二の  
トオルつつうんだけど  
知ってる？知ってるよね？

東地区で一番の  
イケメン！  
なんつって(笑)

SNSのフォロワーも  
めっちゃいるし  
俺ケッコー有名なんだ  
今度飯でも一緒に！...



トオルくんに  
声かけられてる  
じゃん

「LUNAちゃん  
大丈夫かな...  
トオルくん  
かっこいいけど  
短気なんだよね...



調子乗り  
やがって...!

きゃあああッ!!



あーあ...  
来るんじやなかった...

こんな  
時代錯誤のロン毛カマ男に  
「イケる！」と思われるなんて  
サイツター...!

て...てんめ...ッ



キキ

や

キキ

キキ



グ

おっと  
そこまで!

イ



あ...ああ  
わ...わ...  
ついカッと...

トオルつ  
俺らのイベで  
揉め事は勘弁な

隼人くん...ッ!?



は...ッ



みんな  
楽しくやろうぜ

なッ?

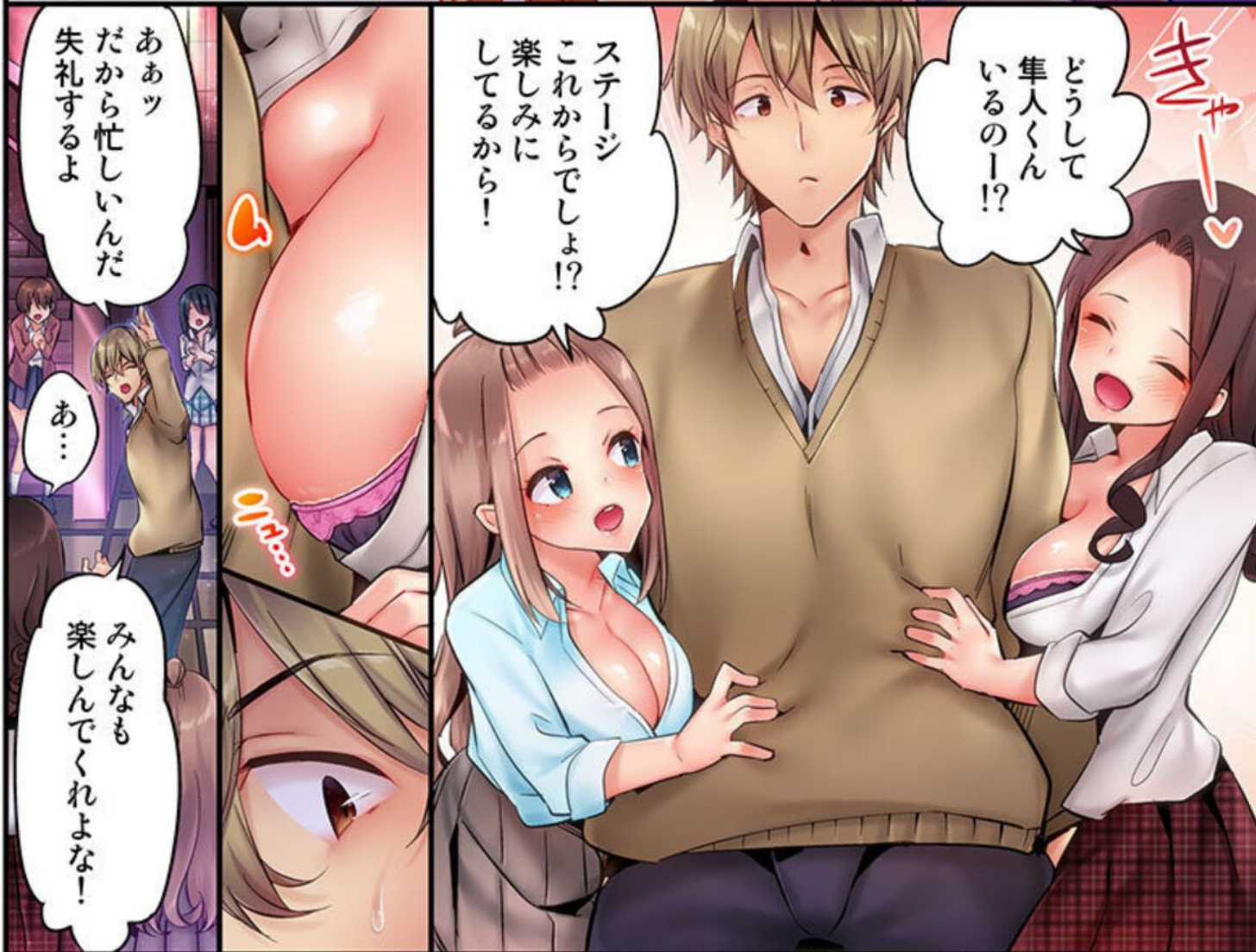


それに...君も



あなた…

…！



どうして  
隼人くん  
いるのー!?

ステージ  
これからでしょ!?  
楽しみに  
してるから!

ああッ  
だから忙しいんだ  
失礼するよ

あ…

みんなも  
楽しんでくれよな!



くっそー  
逃げられた

隼人くん  
抱かれるためには  
もう少し露出増やした  
方が良いかなー

美樹  
肉食ッー

でも隼人くんは  
並大抵の色気じゃ  
無理でしょ

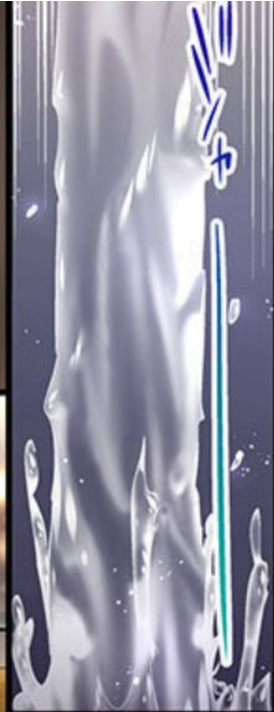
何百人も  
女抱いてるらしいよ

ふーん…



はあ…

はあ…



くそ…ッ

でもまだ…  
触れるのは…

近づくことは  
出来るように  
なった…



女性恐怖症…！

全然…  
治らないな…



えらく…高みに  
来ちゃったな…

はあ…

はは…

鳥肌やば…



ある日級友に  
AVの山を見られ

次の日には学内に  
知れ渡る事になる

そこから先は  
暗黒時代……

画面越しに見る分には  
拒絶反応も起きなかった  
僕の行き着く先……

それがAVだった……



before

陰キャ代表のこの僕が……

少し前まで  
「童貞AVソムリエ」と  
貶まされていた



そんな状態から  
抜け出したかった

元凶である  
女性恐怖症も克服  
したかった

きっかけが  
欲しかった……

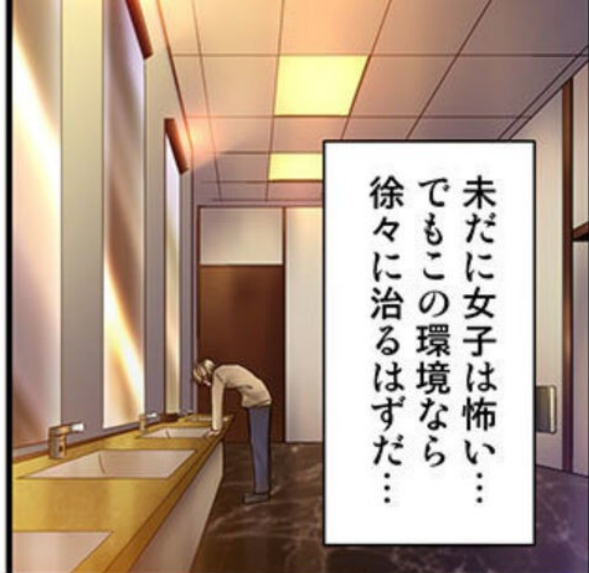


結果手に入れた  
最高の環境


誰も僕とは  
気が付かない……!!



進学は  
過去を捨てる  
いい機会だった……




未だに女子は怖い…  
でもこの環境なら  
徐々に治るはずだ…




だから僕は…  
…いや俺は…

過去を隠し  
素を捨て  
演じる



誰にも…  
バレちゃ  
いけない…!




「AVソムリエ」

なんて  
もう呼ばれる事  
のないように…



へ…?



あれ？  
声に出してた…？

な…ッ  
なんでもないよ

君…  
さっきの子だよ

ここは関係者以外  
立入禁止だ

この環境下で  
生活してみても  
わかったことがある

この距離で接すれば  
女は大抵言うことを聞く

会いに来てくれた事は  
嬉しいけどさ

会いに来た：  
って言えばまあ：  
そうかもね

大方俺に一目惚れ  
したって所か…？



「AVソムリエ」って今  
こんな事して  
お金稼いでるのね

AV買うため？

いや…だから違…ッ

やっぱり声に  
聞こえてたのか…の  
いや…でも  
それだけで  
ここまで  
断定は…  
僕を知る人間？  
気が付かれた？  
嘘だろ…  
やっと環境が  
整ったのに…  
あとは徐々に  
くそッ 馴れていく  
道半ばで…  
積み上げて  
きたものが…



ちよつと！  
聞いているの！？

え…？

いや…その…

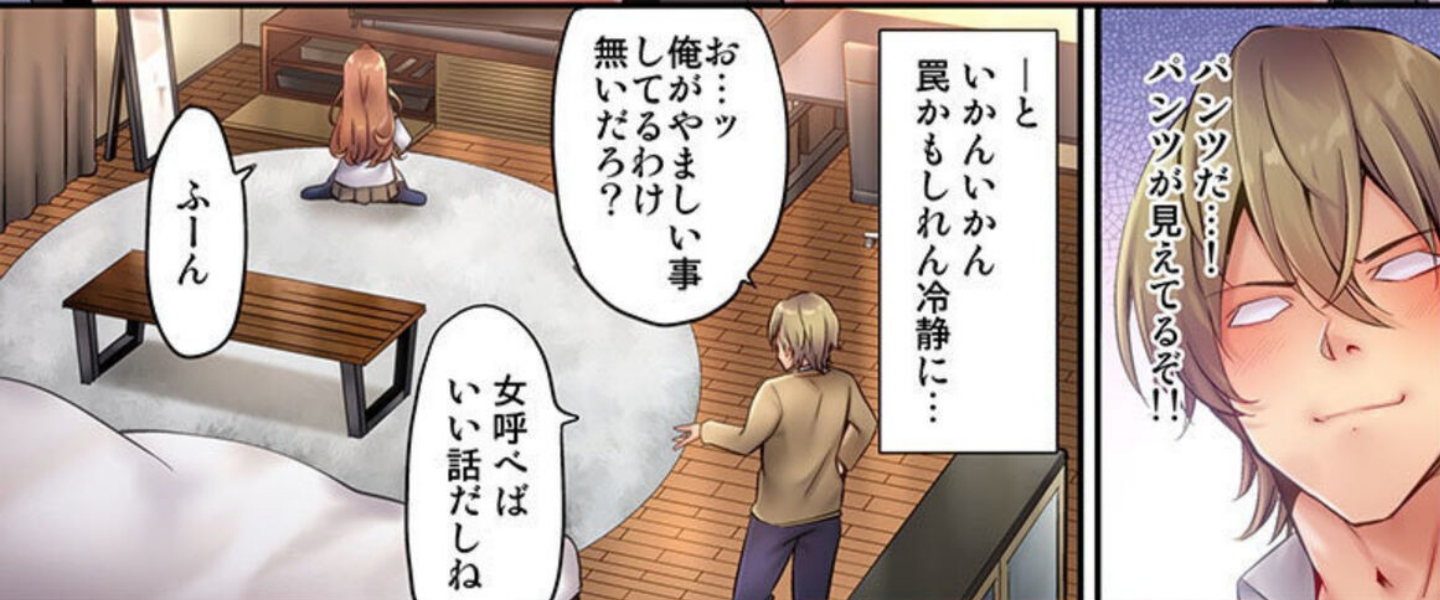
俺は  
AVソムリエじゃ…

なんで  
5分前の話  
まだしてんのよ！！

今晚あんたの家  
行くッつってんの！









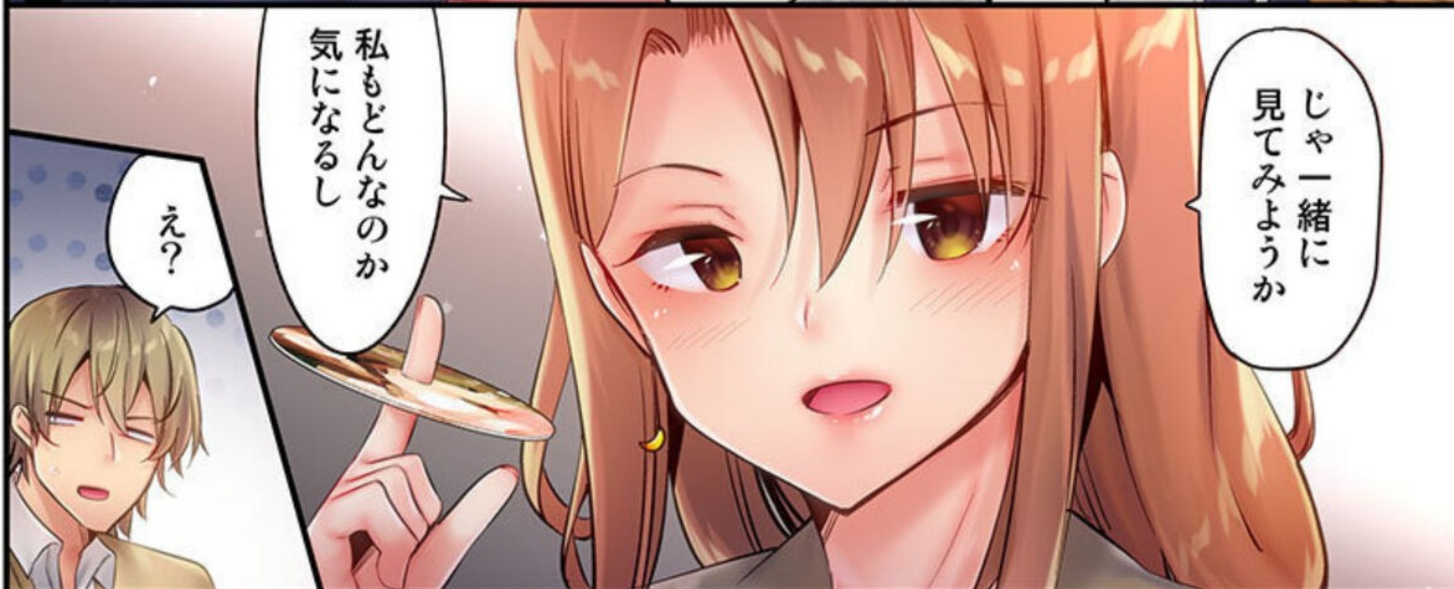
フーン…

そいつの気持ち  
理解するために  
見てたんだ

知人の童貞くん  
相談されたけど  
俺にはわからねーから

な…ッ!?!  
どどど…ッ  
俺が童貞なわけ…ッ

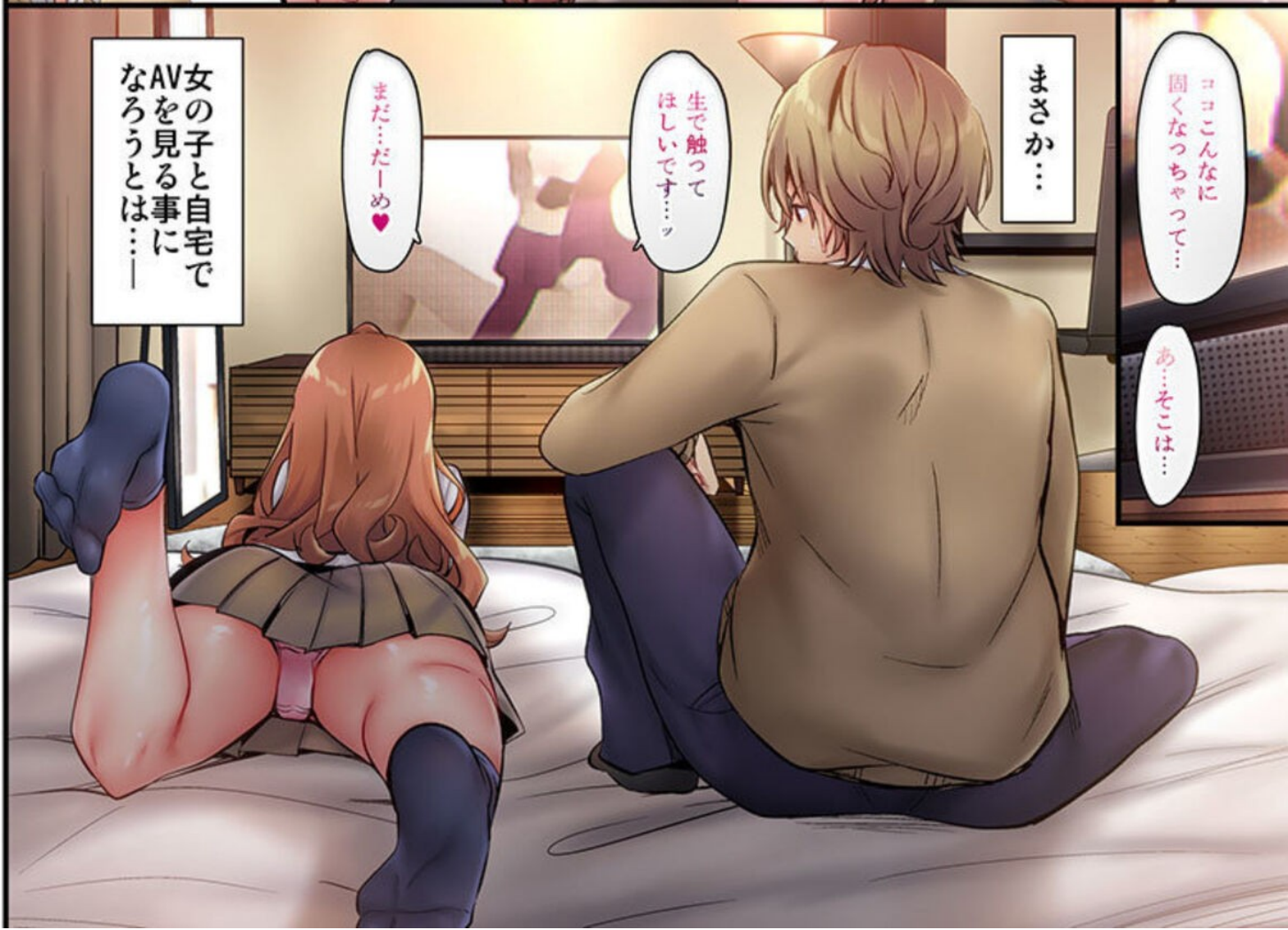
あんた  
童貞なの?



じゃ一緒に  
見てみようか

私もどんなの  
気になるし

え?



ココこんなに  
固くなっちゃって…

まさか…

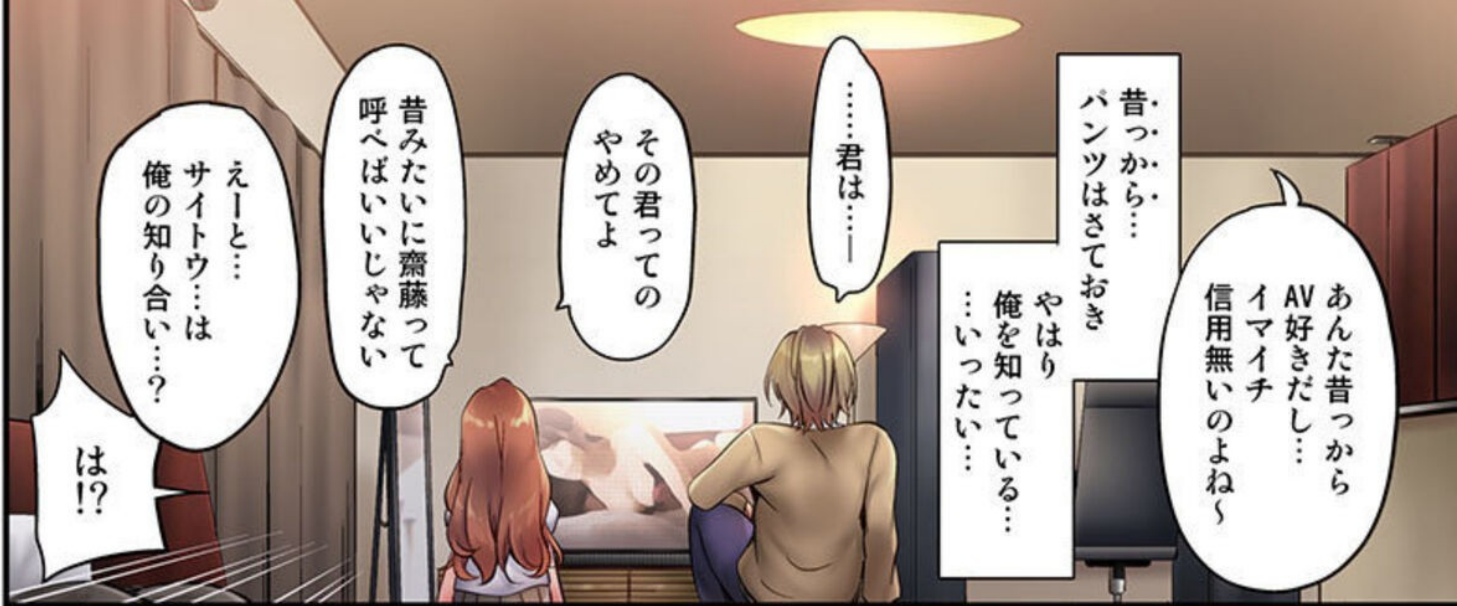
生で触って  
ほしいです…ッ

まだ…だーめ♡

女の子と自宅で  
AVを見る事  
なろうとは…

あ…そこは…





あんた昔っからAV好きだし…イマイチ信用無いのよね

昔っから…パンツはさておき

やはり俺を知っている…  
…いったい…

…君は…

その君ってのやめてよ

昔みたいに齋藤って呼べばいいじゃない

えーと…  
サイトウ…は俺の知り合い…?

は!?



私よ…  
齋藤瑞希

あんたと何度も事あるごとに組まされたじゃない

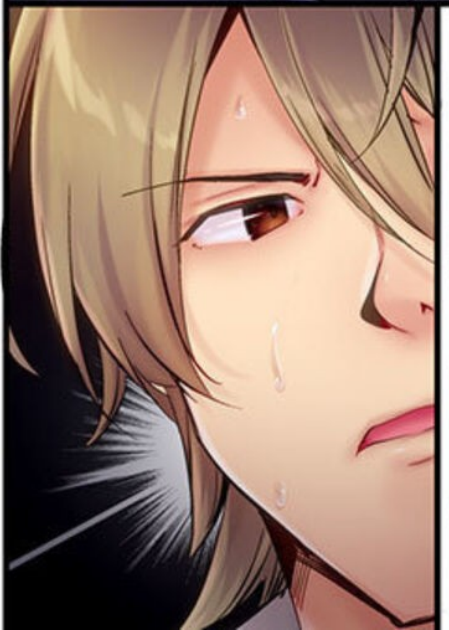


覚えて…  
ないの?



いや…ほら俺は女とつかえひつかえだから…  
覚えてないんだよ  
ごめん

はあ…  
覚えてないか…  
しようがないか  
お互い様な所  
あるし…



昔学校での話よ!!  
「AVソムリエ」  
田中隼人!

学…



サイトウミズキ…?  
何度も? 組む?  
なんの話…?

えーッ?!

サイトウって...  
あの齋藤瑞希!?

そうよ!

before

キャラ  
変わりすぎだろ!!

だって  
齋藤って  
もつとこう...

陰キャ界の女帝  
みたいなやつ  
だったじゃん!?

ああん!?  
あんたこそ  
陰キャ界の帝王  
だったろが!!

齋藤瑞希...俺が唯一  
絡みのあった女だが...

こいつは女子というより  
置物とかモノリスみたいな  
無機物として認識してた...

私だって  
いろいろ  
あったのよ!

なるほど  
コイツなら  
俺に気がついて  
不思議では...





や…やっぱりパンツ  
見てたんじゃん!!

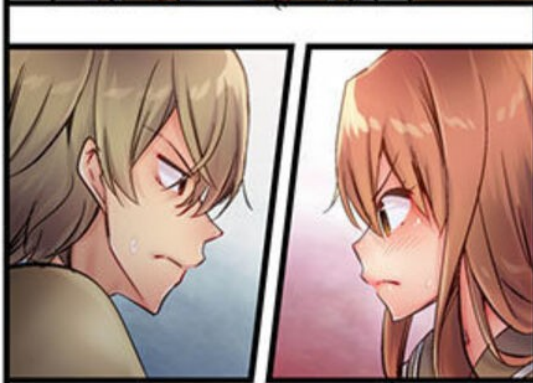
お前こそAVの触り見て  
濡らすなんて  
処女なんじゃないか!?

いや…ツだから  
童貞じゃ…ツ



近い…!!  
近い近い…!!

…こんなん  
でうろたえるなんて  
あんた本当に童貞  
なんじゃないの?



ていうか…ツ  
濡れてないし!!

もうあの頃とは違う…ツ  
私は変わったの!!  
やりまくりだもの…!!

ウソつけ!  
濡れてただろ!!

俺だってもう  
あの頃とは違う…!!

童貞なんてツ

とうに捨てたツ!!

こんなん  
で濡れるわけ  
ないじゃない…!!

処女なんてツ



お願いします!  
1ピストンだけ  
挿入させて  
ください…!!

もう…  
しょうが無い  
わねえ…♥



…  
じゃあ…

証明させろよ…



処女じゃないなら

試しに  
1ピストン…!!

はツ!?



それで…

証明  
できる  
じゃない  
か…!!

……ッ



なによそれ…!?  
そんなの…!

遊びなれてる  
齋藤にとって

そんなの  
挿入のうちに  
入らないだろ…!!



な…ッ

「田中隼人はAVソムリエで  
童貞である」  
と言い回ってやるから…!!

あんたが少しでも  
童貞的な行動を  
とったら

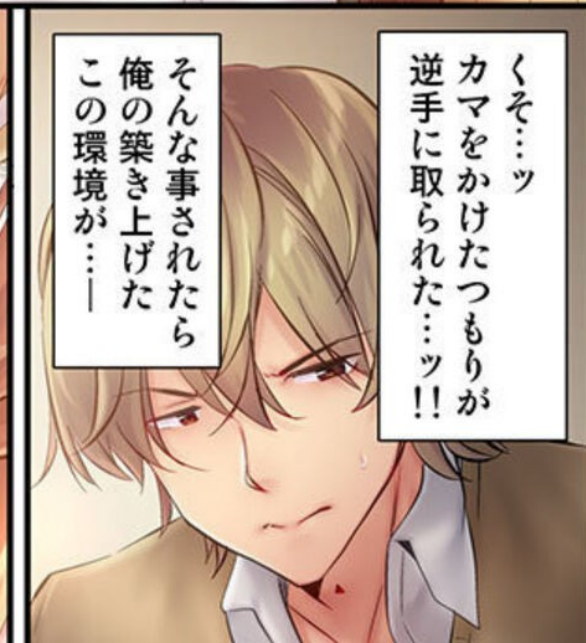
……  
……  
……  
言い分は…  
…わかったわ…  
…そのかわり…



「童貞だから  
この誘いはビビって  
乗ってこない…」  
そう踏んだのか…!?

だとしたら…

…よく考えろ…これは…  
童貞じゃなければ  
なんの問題もない提案じゃ  
ないのか…?



くそ…ッ  
カマをかけたつもりが  
逆手に取られた…ッ!!

そんな事されたら  
俺の築き上げた  
この環境が…!

ここでセックスしないことが一番の不審な行動……ッ!!

もう恐怖症がどうのどうの言うっていられない……

コイツに言い回られる方がリスクがでかい……ッ!!

!!

大丈夫……AVで散々見たんだ……

え……?

ちよ……待……本当にやるの……? あんた……

やるさ……!

やりきれる……!!

……ッ

……!

……!



…どうしたの？  
具合悪そうじゃない  
もうやめましょう…？

不審な行動は…  
とらない…ッ

何言ってんだよ…！  
ビビってんのか？

はあ？  
あ…あなた  
こそ…！



…ッ！！



や…ちよつと  
…待って…ッ

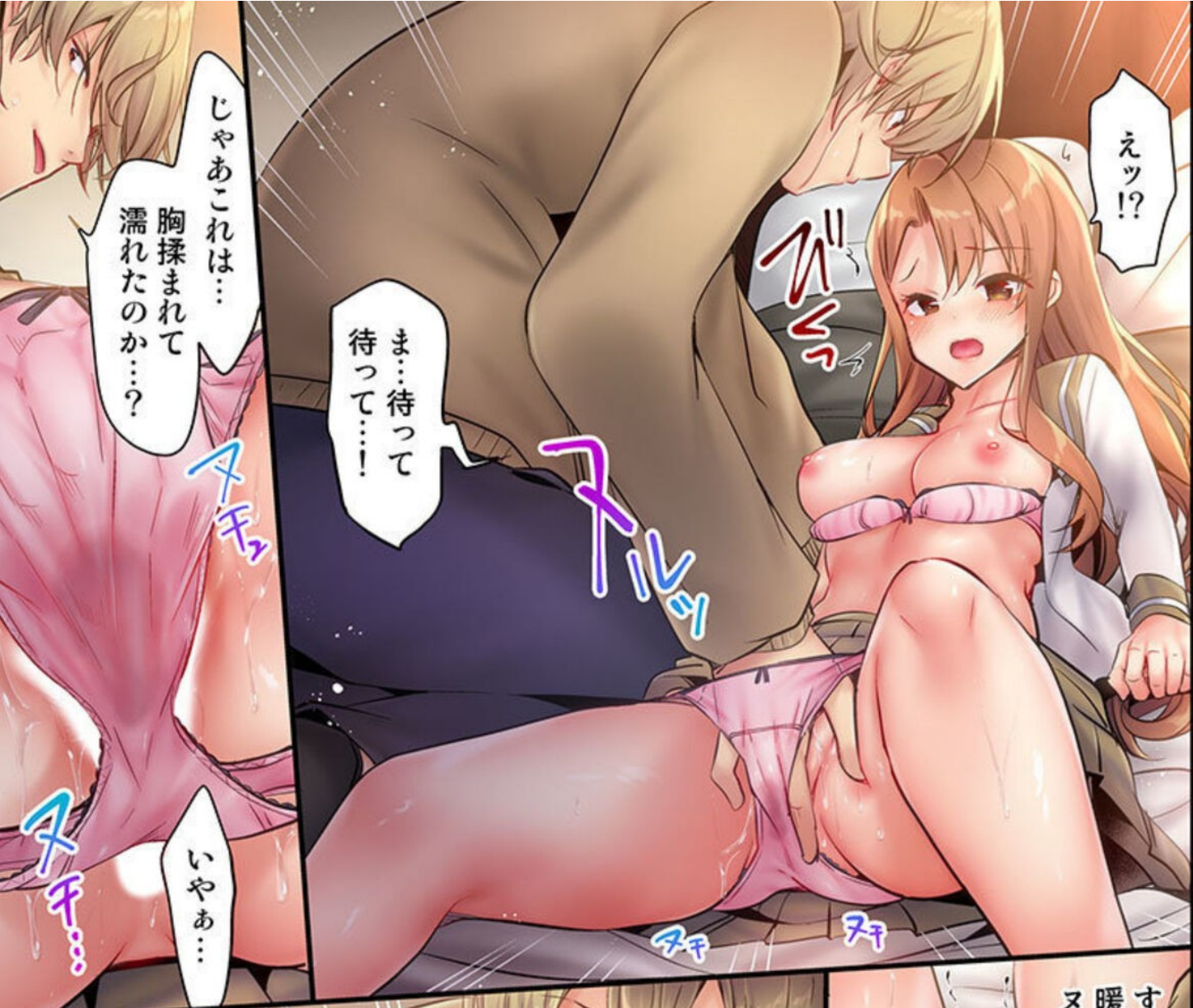
なんだよ…！  
待ったなし  
だぞ…！！

いや…  
ちが…  
ちよつと…  
急すぎ…！

もみゅ

もみゅ





えッ!?

ま…待って  
待って…!

じゃあこれは…  
胸揉まれて  
濡れたのか…?

アツ

フムッ

いやあ…

アツ



なんだ…?  
急に反応が…

んっ  
ひやあ…ツ

あ…ツそこ…  
だめ…ツ



すげ…これが生…  
暖かくて…  
ヌルヌルしてる…

は…ツ  
んツ



ふあ…ツ



…!!



クリオリス…ツ!!

あ…ツ  
だめ…だってば!

どしたんだ?  
どんだん  
濡れてきてるぞ?

ちが…ツ  
そこお…

だめえ…



…ツ



ナカをいじったら…

どう…  
なっちまうんだ…?

たしか…指をこう…  
こんな感じだ…

あつ…やあ…ツ  
動かしちゃ…ツ

あ…ツ  
はいつて…



あん...ッ

ん...ッ

ピク

ピク

ピク

ピク

は...ッ

ピク



なんだよ  
今更...怖気  
づいたのか?

いや...違うの...  
これ以上は...  
だめ...ッ

あッ

あッ

あッ...だめッ  
なんか...

ここまで来て  
なにを...

や...違う...  
そうじゃなく...  
あ...ッ

あ...ッ

あ...ッ

あ...ッ



1ピストンでバレる嘘  
～自称ビッチは  
ウブに濡れる～(1)

著者 ユウキHB  
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。

# 1。 ピンス バート レ る 嘘

ユウキHB  
...YUUKI HB...

2

自称ビッチは  
ウグ  
濡れる

1ピストンでバレる嘘  
～自称ビッチは  
ウブに濡れる～

第 2 話



「穴がわからない」

1ピストン…!

なんて失敗は…  
許されない…!



何…してるんだ…?

わ…わかってるよ…!

カキカキ

大丈夫…!

モザイクの向こう側なら  
何度も見てきたんだ…

…!

齋藤…  
お前もしかして  
ち○こ見るのが  
初めて…

なッ!?!  
そんなわけ無いでしょ!?

み…見飽きたから…!!  
見るまでもないんだから…!!

へー…そう  
じゃあ

自分で挿入してくれよ

へッ!?!

ほら…俺のち○こ

どこに挿入るんだ?  
ん?

あ…ッ  
や…ちよつと…ッ

そこで…  
動かしちゃ…

だめえ…♡

…!







つなぐ  
挿入った...!!



ね...?  
こんなの...



なんだから...

余裕...



それで  
1ピストン…!

ほら…  
抜きなさいよ



あ

は

ん…ッ

あ…ああ



ひあんツ!?

ん

ん



1ピストンだけの...  
約束なのに...!!

え...っ  
ちよ...  
ちよ...  
ちよ...と...ツ

止められない...!!

約束...と  
違...ッ

これが...  
女の子のナカ...!

あれ?  
私...ッ

止まらない...ッ

ちが...嘘...ッ

だめ...ッ

そこ...  
そんな突いたら...ッ



やあ…っ

ちゅーん

グッ

グッ

わかんなくなっちゃう…

えい!

ふや

乳首吸つちやだめ…えッ

ハッ

ハッ

ハッ

わかんなくなっちゃうからあ…ッ

ぐくぐく

ハッ

あ…ッ  
だめ…もう…ッ

ハッ

ハッ

ハッ

私…また…ッ

ハッ

ハッ

ハッ

さ…ッ  
齋藤…ッ

俺…もう…  
やばいかも…ッ

え…ッ  
嘘…ナカッ

ナマ…ッ  
あ…ッまた  
来ちゃ…アッ

ハッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

ハッ



あ…ツ  
出…ツ!!



あ…ツ

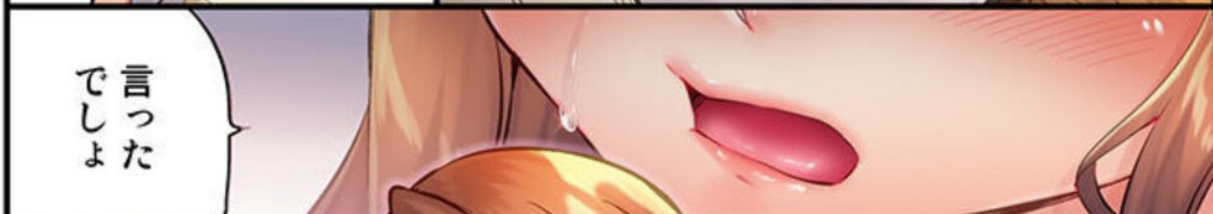
…ツ…

は…ツ

は…ツ

は…ツ

は…ツ





待…ツ



泣いてなんか  
ない…ツ

あ…ツ!!  
おいっ!!

ア!!



なんだよ…



……



あれ？俺…

無我夢中だったから  
気にしなかったけど…

女性恐怖症…  
なにも…

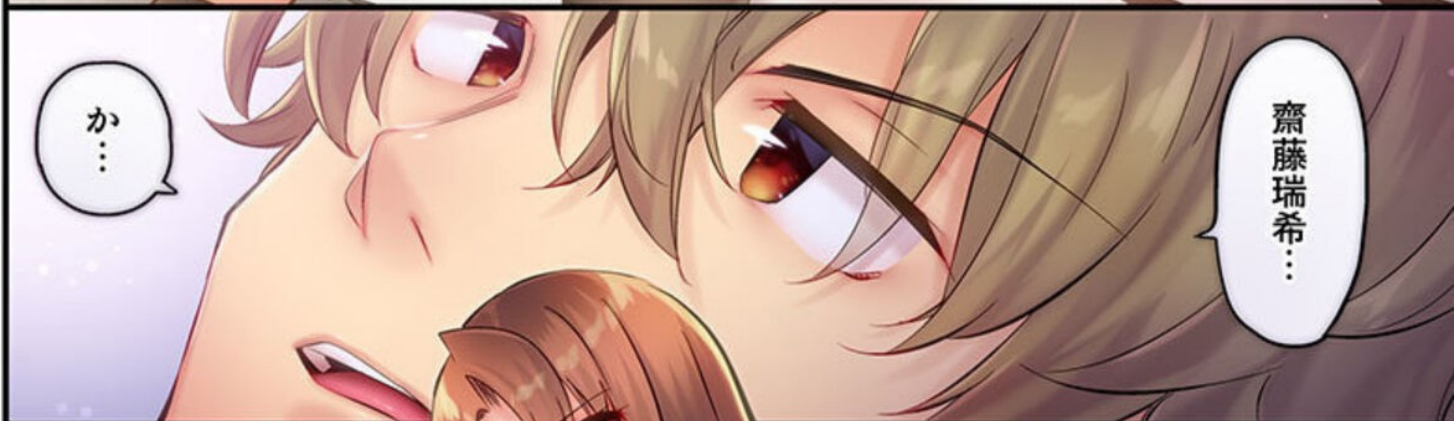
いやそれより  
齋藤が…

っだー!!  
ダメだ…!!



いろいろ  
有りすぎて

思考が  
まとまらねえ



齋藤瑞希…

か…



「AVソムリエ」

田中隼人

あいつ…



治ったんだ

女性恐怖症...



隼人くんが読書しているわ!

SRシーンよ!

ふうか





有名そうだな…

AV女優以外  
あんま興味なかったから  
知らんかったけど…



齋藤瑞希…  
「LUNA」

ガチモデルじゃん…



そんな奴と  
俺は…

セツ…



隼人くん!



ああっ!  
隼人くんが  
うつむいている!

何か真剣に  
考えているのよ!  
SSRよ!  
生きるSSR!!



昨日のイベント  
超よかったよ!

お弁当一緒に  
食べようよ!

私隼人くんのために  
作ってきたんだよ!



ありがとうな

でも俺  
昼ごはん抜く主義  
なんだ

俺がブクブク太ってたら  
いやっしょ？

えーっ!?

くいっ

ト...♡

...はい



またイベやっから  
よろしくな

あっ  
隼人くん!?

イベ

イベ

ぽー



女性恐怖症が

治ったわけじゃない...ッ

だめだ

もしかしたらと思って  
触れてみたが...

キュ...

ハッ

なんで齋藤は  
平気だったんだ…

一心不乱だったから…？

待て田中

毎時毎分毎秒  
チャラチャラ  
軽く

風紀を乱す  
根源め

お前は…

風紀委員長！

私は

お前のような男が  
大っ嫌いだ!!

鈴木美衣子…!!

またも怪しげな  
催しを  
やったらしい  
じゃないか

真面目と言うには  
あまりにも固く…  
ヒステリックなまでに  
正義を尊ぶ

生徒にもしもの事が  
あったら  
どうするつもり  
なんだ!?

この学園の法律  
みたいなやつだ

何かと絡んできては  
俺を目の敵にする  
厄介なやつだ

故に  
俺のような奴とは  
水と油…

まあまあ  
肩の力ぬけよ

みいちゃん

下の名で  
呼ぶな!!

いつもそう肩に  
力入れてちや  
疲れちまうぞ

今度お前も  
来てみたらどうだ?  
意外と楽しいめー

ふざけるな

いつかお前の  
催しは  
潰してやるからな

ズ

た

近……ッ！  
でる……また

女性恐怖症……ッ

ふん……

何も言えないのか

軟弱者が……

……  
あいつは苦手だ

女だから……  
という訳ではなく  
なんつーか……

正々堂々  
まっとうな人生を  
歩んできたであろう  
その生き様で

俺の……  
造られた人生を  
否定されている  
気がして……

保健室

一人に  
なりたい気分だ……

はあ……







頼む…!  
この事は…!  
この事だけはーッ!!

やめ…ッ!  
触るな…!!  
触るとまた…!

—あれ…?  
出ない…

女性恐怖症が…



さわっ…!?

少し触らせて  
くれればいいから…!!



私は…ッ  
その…!!  
隼人!お願いだ  
隼人…!!

わかった…  
わかったから  
落ち着け…!

隼人!?



他の女子と…

人が下手に  
出てるからって…!

齋藤瑞希…  
鈴木美衣子…  
この二人の  
違いはなんだ…!?



俺は今驚いている…  
コイツが非行に  
走っている事と

ざ…ッ  
ざっけんなよ…

自身の体が立て続けに  
女子を受け入れている事にだ

もう一度…  
肩でも触って  
確かめっ—

これで満足だろ…

ちゅ

思う存分触れよ…!!

って脱いでる—!?

は…隼人が  
おっぱい  
触らせろって  
言ったんだろ!

言っ  
て  
ね—よ!?

ちよつと触って…  
どの段階で無理になるか  
確かめられれば  
よかったんだが…

うん

まあ…  
ある意味  
話が早い…か

で…でも…ツ  
下着の上から  
だけだからな…!

ギ  
ニ

…わかった

きゅ…  
急におっぱい  
触るのかッ!?

さっきの  
覚悟は何だよ

う…

それより…  
今日のことは  
約束通り…

黙ってるよな…!

…つうか…それが  
お前の素なのか…?

いつもの真面目は  
どうした?

わかってるよ…

わ…悪いかよ…!!  
ソレを黙ってるって  
言ってるんだ…!!

まさか  
コイツが…

は…ッ

悪いなんて  
いってねーだろ

ヤンキー  
だったとは…

は!? ちよ…ッ  
そこも…!?

…あんま  
調子に…ッ

思う存分  
触れて言ったのは  
お前だぞ

や…め

…す…



俺は  
素の鈴木のほうが  
好きだな

へっ!?

背景は  
わからないが

え…  
はあ…!?

こいつも  
俺と一緒に…  
なのかもな…!

ん…?  
鈴木…ここ  
濡れてきて…

や…おい!  
話をそらすな…!

喧嘩売ってんのか  
てめ…

おい!  
やめ…!

下着の上から  
だけだつて…!!

あ…ツ!!

1ピストンでバレる嘘  
～自称ビッチは  
ウブに濡れる～(2)

著者 ユウキHB  
発行 スクリーモ

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには一切関係ありません。  
本書の一部あるいは全部を無断で複製、転載、上映、放送、配信、送信したり、  
ネットへのアップロードなどは、著作権法上での除外を除き禁止します。